



Fujinokuni

Virtual Medical College

ふじのくにバーチャルメディカルカレッジ

76大学1,620人が利用する
国内最大級の医学生向け奨学金

静岡県医学修学研修資金制度



「医師になる」と決めた初心を忘れないで。

順天堂大学医学部附属静岡病院
脳神経外科 教授
臨床研修センター センター長

中尾 保秋 先生



ようこそ、
ふじのくにバーチャル
メディカルカレッジへ

CONTENTS

- 02 | メッセージ
- 03 | 「医師になる」と決めた初心を忘れないで。
順天堂大学医学部附属静岡病院
脳神経外科 教授
臨床研修センター センター長
中尾 保秋 先生
- 05 | 先輩医師の声
浅野 晃輔 先生
- 06 | ふじのくに次世代医師リクレーター
- 07 | 医学修学研修資金利用者の声
宮浦 成美さん 大佐古 樹さん
- 08 | 全国の奨学金利用者からの声
- 09 | ふじのくに
バーチャルメディカルカレッジの紹介
- 11 | 静岡県医学修学研修資金制度
- 15 | 静岡県内臨床研修病院の魅力
富士市立中央病院
焼津市立総合病院
独立行政法人労働者健康安全機構
浜松労災病院
- 19 | 特集ページ
- 21 | ふじのくに地域医療支援センター
- 22 | 静岡県ってどんなところ？



静岡県知事

川勝 平太

世界が注目する静岡県で活躍を

この春から医学部に進学される皆様、医師としての第一歩を踏み出された皆様に心よりお祝い申し上げます。

静岡県では、県内で働く医師を養成するため、平成26年に「ふじのくにバーチャルメディカルカレッジ」を創立しました。ここでは、静岡県医学修学研修資金制度の利用者に対し、若手医師の県内勤務を促進する取組やウェブを活用した情報発信など行っており、全国どこの医学部に入学しても本県の地域医療の魅力を学ぶことができます。令和5年4月現在、ここで“学んだ”671人の方が本県の医療に貢献いただいております。

また、本カレッジの学長である宮地良樹先生は、静岡社会健康医学大学院大学の学長として、公衆衛生学にゲノム医学・医療ビッグデータ解析などの新領域を加え、県民の病気予防・健康寿命延伸の推進にも御尽力されています。

さらに本県では、優秀な医師を全国から呼び込み、県内への定着を促進し、医師にとって魅力のある教育・研究環境を提供するため、全国初となる医学の博士課程を持つ医科大学の設置を目指しています。

“ふじのくに”静岡県は世界クラスのすばらしい環境を有しており、昨年は、日本、中国、韓国の3か国で文化交流を行う「東アジア文化都市」として、日本の「文化の顔」、いわば「文化首都」として、1年にわたり我が国の様々な文化の魅力を国内外に発信してまいりました。

皆様もバーチャルメディカルカレッジで学び、世界に誇る様々な魅力がある静岡県について知っていただき、医療の第一線で御活躍いただきますことを、御期待申し上げます。

略 歴

昭和47年	学士(早稲田大学第一政治経済学部経済学科)
昭和50年	修士(早稲田大学大学院経済学研究科)
昭和60年	D.Phil.(オックスフォード大学)
平成2年	早稲田大学政治経済学部教授
平成10年	国際日本文化研究センター教授
平成19年	学校法人静岡文化芸術大学学長
平成21年	静岡県知事(現在4期目)



宮地 良樹

医療へのこころざしある仲間が集う静岡県に

このガイドブックを手にとった皆さんは、医療を通じた社会貢献や病気を抱えた患者さんの治療を夢見て、医師になるため、日々の勉学に励んでいることと思います。

皆さんのこころざしを支えるため、静岡県は、川勝知事自らが先頭に立って「ふじのくにバーチャルメディカルカレッジ」を創立し、皆さんに県内で思う存分活躍していただけるよう、在学中から静岡県の地域医療の魅力に触れる機会を提供しています。

本カレッジでは、医学生を対象とした夏季セミナーを開催しており、全国各地の医学生が参加し、静岡県の医療を知っていただく機会を作っています。

また、静岡社会健康医学大学院大学では、第一線の医療現場にいる医師が働きながら専門的な研究ができる環境を用意しています。2024年からは、遺伝医療の観点から心理的・社会的に患者を支援する「遺伝カウンセラー養成コース」が創設されます。このように、社会健康医学の学識を社会に還元し、医療・保健・福祉の向上に貢献できるプロフェッショナルな人材の育成に取り組んでいます。

静岡県には、充実した学びの場があり、こころざしある優れた医師が集まっています。是非皆さんも仲間となっただき、力を合せて静岡県の地域医療を支えていこうではありませんか。

皆さんが、将来、静岡県で末永く御活躍されることを期待しています。

略 歴

昭和26年	静岡市生まれ
昭和52年	京都大学医学部卒業
昭和60年	医学博士(京都大学)
平成4年	群馬大学医学部皮膚科教授
平成10年	京都大学大学院医学研究科皮膚科教授
平成26年	滋賀県立成人病センター(現滋賀県立総合病院)病院長 京都大学名誉教授
令和3年	静岡社会健康医学大学院大学学長 現在に至る



CT室でモニタを見ながら指導



「医師になる」と決めた初心を忘れないで。

順天堂大学医学部附属静岡病院
脳神経外科 教授
臨床研修センター センター長

中尾 保秋 先生

これまでの医師としての来歴

1991年に宮崎医科大学を卒業後、順天堂大学脳神経外科に入局し、医師のキャリアをスタートさせました。最初についたグループの先生が、現在順天堂大学の学長である新井 一先生でした。新井先生は非常に教育熱心で、医師として初期の段階で必要なことを教えて頂き、非常に充実していました。順天堂大学は昔から学閥というものが全くなく、よその大学から来た私も分け隔てなくいろいろと教えていただきました。その後、1996年から1999年まで米国NIH(National Institutes of Health /国立衛生研究所)に客員研究員として留学し、ノーベル賞にもノミネートされたDr.ソコロフのもと、脳血流代謝について学びました。今日に至るまで恩師に恵まれ、非常に良い教育を受けてきたと感じています。帰国後の2000年、医学部附属静岡病院に配属されました。

自分が受けた教育を若い世代に

もちろん確固たる目標がある学生もいるでしょうが、多くの医学生は何となくおぼろげな意思のまま医学部に進学し、勉強したり先輩の動きを見たり、入局して働くうちに、少しずつ目標が明確になっていくと思います。私もそうでした。

でも、突然チャンスは来ます。私の場合は留学でした。Dr.ソコロフは現在のPET-CTの基となる数式を作った先生で、当時の私からすれば雲の上の人でした。その先生の下で学べるチャンスが舞い込んできたのは、日頃、自分なりに頑張っていたことを先輩が評価し、医局で名前を挙げていただけたからなのかなと思っています。若手のうちはできることも限られて

いますし、まだ能力が追いつかないと焦る気持ちもあります。ですが、与えられた環境で常にベストを尽くしていれば、誰かが見てくれていて、こうして思わぬチャンスを得られる可能性も大いにあります。

米国に行った当初は言葉の壁があって本当に大変でしたが、コミュニケーションが取れるようになってからはDr.ソコロフが時間を割いて本当に熱心に教えてくださいました。自分が受けた教育を若い世代にもしてあげたいという思いがあります。

地域医療を牽引

機能の集約化も進んでいる昨今、当院はこの地域の医療を牽引する立場です。だからこそ基本的に救急の患者さんは断りませんし、設備や我々の知識・技術を日々アップデートして、東京に行かずとも最先端の高度な医療が受けられるようにしています。

また、当院はドクターヘリを配備している病院です。ドクターヘリの出動数は全国4位、診療数は全国2位であり、機体も大きく、まさに“空飛ぶ救急医療室”。伊豆半島を中心に広域を力



バーしており、研修医は教育の一環として研修期間に必ず一度は搭乗します。

大学病院の役割

大学病院は学生の実習を受け入れる教育機関としての役割があります。特に順天堂大学の附属病院では医学部だけでなく看護学部や技師を目指す学生の実習も積極的に受け入れています。希望を持ち生き生きとした若い医師と共に働くことは我々にとってもとても幸せなことです。

学生や若い医師は当院でさまざまな症例を診ます。本来はそれほど問題のない軽い疾患であっても、高齢の患者さんの場合は教科書どおりにはいかない場合があります。若手には、大学病院として最先端医療を行いつつ、同時に地域に根ざした病院として様々な対応をしている点をしっかりとその目で見て、学んでもらいたいと思っています。

医師を目指す人へのメッセージ

皆さんそれぞれ思うところがあって医学の世界を志したと思います。「どうして医師を目指したのか」、その決断をした時の気持ちをぜひ大切に持ち続けてほしいです。おそらく身近な方の病気もその一つでしょうし、生命そのものに興味がある人もいるでしょう。いろいろな理由があるはずですよ。

その上で、キャリアを重ねるうちにいろいろな感情も芽生え、考え方が変わることもあると思います。でも、とにかく一つだけ、医師は「患者さんのため」、そこだけは絶対に変わってはいけないし、医師を志した時の初心を大切にしてください。



基本的に患者さんは病気で困っています。私たちの仕事は困っている方のお手伝いをすることです。私たちが頑張れば頑張るほど、患者さんの命に直結します。地道な努力で時には誰も見てくれないかと思ってしまうこともあるかもしれませんが、決してそんなことはありません。自分の頑張りが他の人の幸せに結びつくことを意識してみてください。

私たちの仕事は他の人の人生を素晴らしいものにしてあげられるように、困り事を解決するお手伝いをしているのだというマインドを持ち続けてほしいと思います。その上で自分の人生もぜひ楽しんでください。ベストを尽くすことで他の人がハッピーになり、自分にもハッピーが回ってくるかもしれない。医師とはそういう仕事です。



研修中に1回は乗るドクターヘリは下田まで約10～15分で着く

先輩医師の声

伊東市民病院
内科

専攻医編

浅野 晃輔 先生

福井大学卒業/静岡県静岡市出身
(第9期ふじのくに次世代医師リクルーター)



医師を目指したきっかけ

根本の動機については、父が医師であったことだと思います。また、出身は静岡市ですが、中学高校と鹿児島県のラ・サール高校に通っており、寮生活をしていました。周りの友人も医学部進学を目指す人が多く、それも自分にとって刺激になったかと思います。

初期臨床研修

中学生の頃からラグビー部に所属し、大学入学後もラグビー部で毎日部活漬けの日々を送っていました。自分が在学中に西医体を2連覇したことは良い思い出です。初期研修の病院は静岡市にある静岡県立総合病院で研修をさせていただきました。研修医として働いた中で、一番最初の仕事場は救急外来でした。

現在の診療科を専攻したきっかけ

学生時代に志望していた診療科は血液内科でした。その後、研修医として働きはじめ色々な科をローテートしている間に神経内科になりたい、外科にもなりたい、はたまた麻酔科など目移りするようになり、2年目の夏まで全く決まらない状態で過ごしていましたが、「救急受診した患者さんを最後までマネジメントしたい」という気持ちがあったため、内科を専攻しました。

現在の勤務

初期研修医のときの主戦場であった救急外来では暫定の診断をつけて、それに対応する科の上級医の先生に入院を取ってもらうといった仕事でしたが、救急外来を受診する方の多くがたくさんのプロブレムを持っていたり、その場では診断がつかなくなったりする方でした。救急外来の場ではっきりとしないことが多く、入院後も自分が診療をするわけではないため、少しもどかしさも感じていました。そんな中、研修医2年目の7月頃に東京ベイ・浦安市川医療センターという病院の総合内科OBの先生のお話を聞く機会があり、東京ベイでは循環器疾患も消化器疾患もそれ以外も基本的には総合内科の医師チームがマネジメントをし、専門的な介入が必要であれば各専門科にお願いをするといった特殊なスタイル(海外ではホスピタリストといい、これが一般的です)での診療体制を取っていると聞き、興味が湧きました。静岡県の伊東市民病院との合同プログラムで1年のうちに6か月を東京ベイで過ごし、残り

の6か月を伊東市民病院で働くというプログラムに応募し現在に至ります。

伊東市民病院について

私は現在静岡県の伊豆半島にある伊東市民病院という病院の内科医師として勤務をしております。いわゆる地域の急性期医療を担っている病院で、伊東市中の救急車が集まってくる病院です。専科はなく、明らかな外科系疾患以外はすべて内科が入院から退院までマネジメントを行うという環境で働かせていただいています。日本の平均と比較しても高齢化が進んでいる地域であり、一人の患者さんが多くの疾患を抱えながら時には入院しています。こういった方は大学病院や大きな総合病院では複数の科に跨って診療を受けることになると思いますが地域の病院では一人の医師が診療を行うことになりませんが、これから都市部の高齢化が進むことが想定されていますが、それに先じて、10年20年先に都会の病院で起こるようなことを体験できていると考えると今の職場環境が日本の最先端医療なのかもしれないとも思っています。

医師を目指す皆さんへ

研修医1年目となり、医師として働き始める前にある程度準備しておかないといけないことがあります。決して医学の勉強だけではありません。6 competenciesという教訓があります。詳細は割愛しますが医師として働く上で重要な6つの要素のことを指します。医学的知識はその中の1つに過ぎないので、今後皆さんが働いていく中で、多職種とコミュニケーションを取ったり、職場ごとのルールに適応したりなどの様々な能力が求められます。是非、学生のうちに色々なことに挑戦し人間力を磨いておきましょう。そして、ご縁があれば静岡県と一緒に働くことができれば幸いです。



静岡県地域医療の魅力を発信します

ふじのくに次世代医師リクルーター

静岡県では、県内で活躍する若手医師を“ふじのくに次世代医師リクルーター”として委嘱し、本県の地域医療の魅力や情報を発信しています。現在、25名の若手医師が活躍中です。



主な活動内容

- ・医学修学研修資金利用者意見交換会で医学生等と交流
- ・ふじのくに地域医療支援センターメールマガジンへの寄稿
- ・高校生等向け講演会出席



メールマガジンでリクルーターの先生からのメッセージを配信しています!

順天堂大学医学部附属静岡病院 鳥沢 規子 先生（令和5年6月掲載）

こんにちは、研修医2年目の鳥沢規子と申します。まずは少しだけ自己紹介をさせていただきます。

私は静岡県沼津市出身で、大学は北里大学でした。6年間静岡県医学修学研修資金を利用させていただきましたが、卒後は自分が生まれ育った場所で、少しでも地域の力になりたいと考え、順天堂大学医学部附属静岡病院で初期研修をさせていただいています。

研修病院を決める際に一番の決め手となったのは「雰囲気」でした。実際に自分が働いてみないとわからないことも多いと思いますが、見学をしてみて、自分がその病院で働いている姿を想像し、自分が理想とする医師像に2年間の研修で少しでも近付けるかを考えていました。見学はたった1日だけでしたが、当時の研修医の先輩方や見学させていただいた科の先生方の優しさ、院内の明るさや医師以外のスタッフの雰囲気が、自分を成長させてくれるのではないかと感じ、順天堂大学医学部附属静岡病院を選ぶに至りました。

病院の紹介をします。当院では稀有な症例に遭遇したり、非常に学術的で教育的な先生方のもとで働くことができるというような大学病院らしさを感じながら知識を深める事ができます。それと同時に、伊豆という地域医療を担う地域の中核病院という面も持ち合わせている病院であることから、科に縛られないあらゆるcommon diseaseも多く、基本的な考え方や処置・手技の経験も多く積むこともできます。大学病院にしようか、市中病院にしようか、研修先を決める際にまず悩むことだと思いますが、両方のいいところ取りができる病院と思っているので、良かったら是非一度見学に来ていただけたらと思います。

コロナが次第に落ち着き、病院見学に行きやすくなり、また意見交換会などが再び開催されるようになるのではと思います。実際に生の声が聞けるというのは非常に良い機会だと思うので是非自分の目でみて、感じて、自分に合った病院を見つかることができたらと思います。その際に少しでも皆さんのお手伝いができたら嬉しく思います。



県内で活躍するリクルーターのメッセージはこちらからご覧いただけます。



医師を目指したきっかけ

看護師である母の影響もあり、幼少期から医療や生物に関心が高く、気づいた時には医師になりたいと考えていました。自分自身や進路について深く悩み、成績も振るわずに挫折しそうになることもありましたが、浪人生活中に母と共に祖父母の介護や看取りを経験したこと、家庭医の先生にお世話になったことで地域医療の大切さを強く実感し、医師少数地域である地元で地域医療に貢献したいと改めて思いました。

静岡県医学修学研修資金について

高校生の時に参加した「ころざし育成セミナー」で修学研修資金の存在を知りました。学費が高額な私立大学への進学が決まったことで、経済的な負担を少しでも軽くしたいと思ったことや、診療科の制限がなく全体的に自由度の高い制度であることから利用を決めました。

同じく本研修資金を利用する友人と共に、夏季セミナーや

意見交換会などのイベントに参加しながら静岡の観光をしたり、イベントを通して学内外を問わず交流が広がったりするのも嬉しいです。また、行政医の仕事内容についてイベント中に伺ったところ、実際に熱海保健所に出向いて見学する機会を設定していただきました。

大学生生活

私はかなり多浪して入学したの



東海大学/令和4年度入学(一般枠)
静岡県磐田市出身

宮浦 成美さん

医学生編

ですが、周りの人に恵まれて充実した生活を送ることができています。テストに加えて解剖実習や福祉実習など、入学前に予想していた以上に実習が多く、体調管理に気をつけながら、時に友人と協力して計画的に進めていく必要があります。また、剣道部の活動やフリースクールでのアルバイト、最近では料理教室など医学の勉強以外のことにも積極的に挑戦しています。

医学部を目指す皆さんへ

医学部入試に向けて勉強する中で強いプレッシャーを感じることも、思うようにならずに辛い思いをすることもあるかもしれませんが、医師になるという目標に向かって必死に努力した経験は、皆さんにとってかけがえないものになることと思います。応援しています。



医学生編

日本医科大学/令和2年度入学(地域枠)
神奈川県出身

大佐古 樹さん

医師を目指したきっかけ

親戚などが闘病する姿を見たことで、医師を目指しました。具体的には、もし病気の兆候や違和感に気づいていたらどうだったのだろうか、もっと言えば、もし自分が治療や闘病に貢献できるような知識と技術があれば少し違う未来が待っていたのでは?という思いに駆られ、医学部への道を選びました。

静岡県医学修学研修資金について

私立の医学部は学費が高額なので、母方の実家のある静岡県の奨学金を利用することにしました。入学以降は静岡県主催の病院見学バスツアーや意見交換会など、実際に静岡県で医師として働く先輩方とお話させていただく機会があります。在学中から卒後の進路をイメージしやすい環境が用意されています。

受験勉強について

浪人している時は夜型の生活になってしまって朝起きられないことがあります。なので、「6時に起きて数分勉強すればその日はもう満点」というような軽めの自分ルールを決めました。

達成すると欲が出てきて、結局少なくとも10時間程度は勉強を続けられました。また、自室で勉強していたので、朝の眠い時間だけは机に向かう自分を動画に撮ってみるなど工夫していました。

大学生生活

四年生から臨床実習が始まり、診療を実際に見せていただくようになりました。患者さん一人ずつにバックグラウンドがあり、文字や写真でしか見たことのない疾患に色がついていくようで、充実した日々を送れています。最近では目線が上がってより学びたいという意欲が強くなり、二次救命措置などのより実践的な資格を取りに行くようになりました。

医学部を目指す皆さんへ

昨年たまたま道端で一次救命を行い蘇生することができ、消防総監から感謝状をいただきました。もし大学で学んでいなければ、正しい行動はできなかったと思います。命を救う勇気を試されるのは、必ずしも医師になってからというわけではないことに気がきました。いつか誰かを救う時のために、一緒に医学部で学びませんか?日医でお待ちしています。



左から
安武医学部長、
大佐古さん、弦間学長

全国の 静岡県医学修学研修資金 奨学金利用者からの 声

自分が努力した分だけ人の役に立てるやりがいのある仕事だから。

藤田医科大学

チーム一丸となって多方面から患者に寄り添う医療に自分も携わりたい、医師として医療を提供したいという思いが強くなり、医師を志した。

日本大学

静岡県出身で卒業後も静岡県で働きたいと考えていたため。

順天堂大学

自分の出身地である静岡県の医療に貢献し、少しでも地域に還元できる医師になりたいと思ったから。

岩手医科大学



Q1

医師を目指したきっかけは

感謝される仕事に就きたいと思ったから。

順天堂大学

人と関わりながら、直接誰かの助けになる仕事をしたかったから。

浜松医科大学

原因・治療法が未解明の難病の方を助けたいと思ったから。

聖マリアンナ医科大学

女性医師に対しての支援が厚く、仕事と家庭の将来設計が立てやすいことに魅力を感じた。

関西医科大学

夢に向かって諦めないことが大事だと思います。頑張ってください！

旭川医科大学

実習を行う中で改めて、医師としての仕事の役割ややりがいの大きさを実感しています。医学部に入学することは難しいですが、自分を信じて頑張ってください！

岩手医科大学

勉強に限らず、部活動や学校行事などにも妥協をしないことが大事だと思います。頑張ってください！

東北大学

大変だと思いますが、医学の勉強はとても楽しいです。一緒に働けることを願っています。

聖マリアンナ医科大学

勉強以外で高校時代に頑張れたことがあると、面接の際に話しやすいと思います。

金沢大学

Q2

数ある奨学金の中から静岡県医学修学研修資金を選択した理由

大学在学中から卒業後の幅広いサポートを提供してもらえること。

日本大学

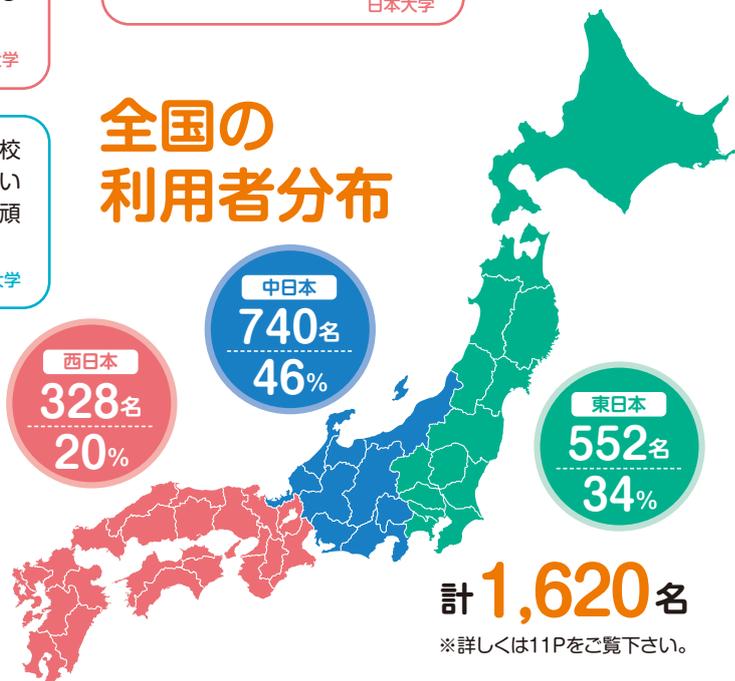
専門研修プログラムが静岡県内で充実しているため。

弘前大学

Q3

医学部進学を目指す高校生へのメッセージ

全国の利用者分布



ふじのくにバーチャルメディカルカレッジ

理事長／川勝平太 名誉学長／本庶佑 学長／宮地良樹

ふじのくに地域医療支援センターの運営する仮想医科大学「ふじのくにバーチャルメディカルカレッジ」では、静岡県医学修学研修資金を利用して全国の医学生等を対象として、県内イベントの開催やウェブコンテンツの配信を行っています。また、卒業後は、全国の協定締結大学や公的病院等との連携により、静岡県での勤務をサポートします。カレッジ入学前の高校生には、医師・医学部進学を目指す方に向けたセミナーの開催をしています。

高校

ふじのくにバーチャルメディカルカレッジに入学するまで

こころざし育成セミナー 夏

県内病院の協力により、医師の講話、模擬手術体験、施設見学などを行っています。



フォローアップセミナー 冬 春

大手大学進学塾による受験対策、静岡県地域枠設置大学の紹介などを行っています。



県内外の大学医学部へ進学

静岡県医学修学研修資金の貸与

月額20万円の貸与(6年間)

入学

ふじのくに
バーチャルメディカル
カレッジ

詳しくは11~12Pを
ご覧ください

ふじのくにバーチャルメディカルカレッジに入学してから

ふじのくにバーチャルメディカルカレッジ夏季セミナー

県内で活躍する医師の講演会や先輩医師であるリクルーター等との昼食会やグループワークを行い交流を深めています！



参加者の声

- ・ 静岡県で働く未来をより深く見つめ直す機会になった
- ・ 宮地先生の講話を聴いて、卒業後のキャリア形成について知ることができ、自分の将来が想像しやすくなった
- ・ 自分がどの道に進むかまだ明確には決まっていないが、与えられた環境で努力を怠らないことが大事であると思えた

医学部(6年間)

医学部(6年間)

医学修学研修資金利用者意見交換会

キャリア形成支援医師や先輩医師との交流を通して地域医療を学びます。



参加者の声

- ・ 9年間の勤務の流れについて知ることができた
- ・ 診療科の決め方、研修医の生活を知ることができた

病院合同説明会

県内臨床研修病院の指導医や先輩研修医が研修内容や勤務について説明します。



参加者の声

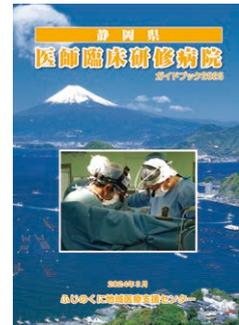
- ・ 気になっていた病院の話の一度に聞くことができた
- ・ 研修医の先生の生の声が聞けた

静岡県には24の臨床研修病院があり、特色ある臨床研修プログラムを用意

医師臨床研修マッチングに参加し研修先を決定

- Welcome Seminar in Shizuoka
- 屋根瓦塾 in Shizuoka

詳しくは19Pをご覧ください



2年目

- 春: 専攻医希望の診療料などを県に報告
- 夏: キャリア形成支援医師との面談を実施
- 秋: 参加を希望する専門研修プログラムに応募
- 冬: 勤務先の決定

医師キャリア形成支援業務

静岡社会健康医学大学院大学
県立総合病院

浜松医科大学

- ・ キャリア形成支援
- ・ 医学修学研修資金被貸与者の勤務先病院の決定支援

静岡県内の病院では全19領域の専門研修プログラムを用意

専門研修期間中

プログラムリーダー、県と協議の上、勤務先を決定

専門研修後

秋に専任医師との面談を実施、県と調整の上、専門研修後の勤務先決定

専門研修
プログラム



臨床研修(2年間)

専門研修中

専門研修後

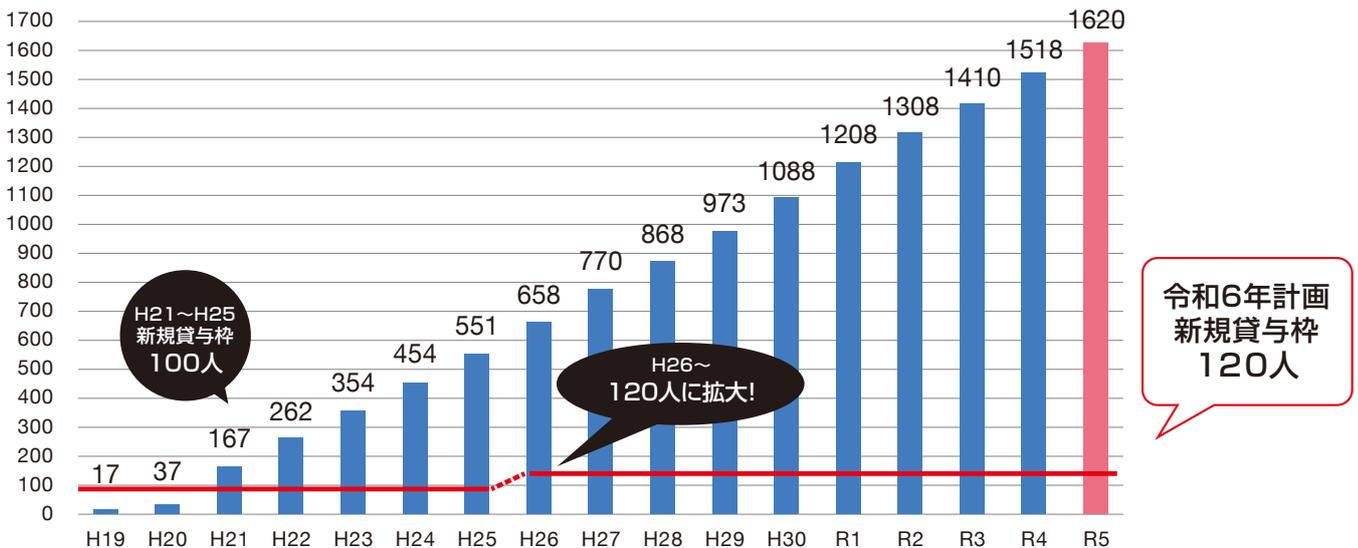
制度の概要

貸与期間	原則6年間(正規の修業年限)
貸与額	月額20万円(6年間総額1,440万円)
返還免除 勤務時間	勤務義務:9年間(貸与期間の1.5倍の期間) 履行期限:16年間(貸与期間の2倍+4年)
貸与枠	<p>【一般枠】入学後に県へ貸与申請し、書類審査・面接審査を経て貸与決定 (対象:全国の医科大学)</p> <p>【大学特別枠】入学後に大学へ貸与申請し、大学から県への推薦を経て貸与決定 (対象)浜松医科大学、東京大学、東京医科歯科大学、名古屋大学、慶應義塾大学、杏林大学、 東京慈恵会医科大学、日本大学、日本医科大学、東京医科大学、東京女子医科大学、 聖マリアンナ医科大学、昭和大学、岐阜大学、京都大学、国際医療福祉大学</p> <p>【地域枠】貸与を受けることを条件に別枠入試にて出願⇒合格となった場合貸与決定 (対象:指定10大学)</p>
診療科の指定	なし

※大学院生や専攻医を対象とした制度もあります。

(注)令和元年度以前に貸与を開始された方は、一部内容が異なりますのでご注意ください

実績(令和6年3月現在1,620人が利用しています)



大学別利用者

■ 静岡県地域枠設置大学

大学名	利用者	大学名	利用者	大学名	利用者	大学名	利用者
浜松医科大学	576	山梨大学	17	慶應義塾大学	8	大阪医科薬科大学	4
聖マリアンナ医科大学	88	秋田大学	16	新潟大学	8	東北医科薬科大学	3
川崎医科大学	75	名古屋大学	16	熊本大学	8	京都府立医科大学	3
近畿大学	53	滋賀医科大学	14	山形大学	8	神戸大学	3
関西医科大学	51	三重大学	14	岐阜大学	7	兵庫医科大学	3
東海大学	47	獨協医科大学	13	群馬大学	7	東京大学	2
日本大学	44	福井大学	12	山口大学	6	大阪市立大学	2
昭和大学	43	琉球大学	12	宮崎大学	6	和歌山県立医科大学	2
日本医科大学	32	金沢医科大学	11	北海道大学	5	愛媛大学	2
順天堂大学	30	国際医療福祉大学	10	信州大学	5	佐賀大学	2
藤田医科大学	29	徳島大学	10	京都大学	5	香川大学	2
帝京大学	24	久留米大学	10	広島大学	5	千葉大学	1
杏林大学	23	福島県立医科大学	10	旭川医科大学	5	大阪大学	1
愛知医科大学	23	島根大学	10	鳥取大学	5	九州大学	1
北里大学	20	東京医科歯科大学	9	弘前大学	4	福岡大学	1
東京医科大学	19	富山大学	9	筑波大学	4	鹿児島大学	1
東京慈恵会医科大学	18	名古屋市立大学	9	東邦大学	4		
東京女子医科大学	18	高知大学	9	横浜市立大学	4		
金沢大学	18	岩手医科大学	8	長崎大学	4		
埼玉医科大学	17	東北大学	8	大分大学	4		
							1,620

静岡県と連携する大学

静岡県では、県内外の大学と連携して、在学中から卒業後までの様々な支援を通じて、本県の地域医療に貢献する医師の育成を行っています。

静岡県地域枠を設置する10大学



浜松医科大学

所在地: 静岡県浜松市
地域枠定員: **15名**



入試サイト
www.hama-med.ac.jp



順天堂大学

所在地: 東京都文京区
地域枠定員: **5名**



入試サイト
www.juntendo.ac.jp/academics/faculty/med/



近畿大学

所在地: 大阪府大阪狭山市
地域枠定員: **10名**



入試サイト
kindai.jp/exam/



川崎医科大学

所在地: 岡山県倉敷市
地域枠定員: **10名**



入試サイト
m.kawasaki-m.ac.jp/examination/



東海大学

所在地: 神奈川県伊勢原市
地域枠定員: **3名**



入試サイト
www.med.u-tohoku.ac.jp/web/eei/



帝京大学

所在地: 東京都板橋区
地域枠定員: **2名**



入試サイト
www.teikyo-u.ac.jp/applicants/



関西医科大学

所在地: 大阪府枚方市
地域枠定員: **8名**



入試サイト
www.kmu.ac.jp/admissions/



日本医科大学

所在地: 東京都文京区
地域枠定員: **4名**



入試サイト
www.nms.ac.jp/college/nyushi/



昭和大学

所在地: 東京都品川区
地域枠定員: **8名**



入試サイト
adm.showa-u.ac.jp/



日本大学

所在地: 東京都板橋区
地域枠定員: **3名**



入試サイト
https://www.nihon-u.ac.jp/admission_info/

キャリア形成卒前支援

地域枠で入学した方等に対し、在学中から卒業後に県内の地域医療に貢献するキャリアを描いていただくために、キャリア形成卒前支援を行っています。講義や勉強会、病院見学ツアーなどを通して、静岡県の医療を知っていただく様々な機会を設けています。



静岡県との協定締結大学

聖マリアナ医科大学

平成26年度に協定締結。医学生への育成や指導医の派遣を通じて、県東部地域の医療の確保に取り組んでいます。

勤務先決定方針

貸与枠	令和2年度以降 入学者	令和元年度以前 入学者
一般枠	臨床研修終了後、返還免除勤務時間のうち4年間は、県の指定する地域(医師多数区域以外を想定)で勤務 ※希望者は、キャリア形成プログラムを適用	専門研修終了後、残りの勤務義務期間を各1/2ずつA・B病院で勤務 【A病院】 本人が希望する2次医療圏域で県が指定する病院 【B病院】 A病院が属する地域とは異なる地域で県が指定する病院
大学特別枠	本人の意向を聴取し大学と協議した上で県が個別に指定する機関で勤務	
地域枠	キャリア形成プログラムの適用 (臨床研修終了後、7年間のうち4年間は医師少数区域等で勤務)	【キャリア形成プログラムを希望】 キャリア形成プログラムの適用(大学6年時に適用同意書を提出) 【キャリア形成プログラムを希望しない】 一般枠と同様の勤務

返還免除を受けるための勤務シミュレーション (令和2年度以降入学者)



医学修学研修資金の県内勤務者数 (令和5年4月現在)

■ 医師多数区域 ■ 医師中位区域 ■ 医師少数区域 ■ 医師少数スポット

東部			中部			西部		
圏域名	病院名	計	圏域名	病院名	計	圏域名	病院名	計
賀茂	下田メディカルセンター	1	静岡	県立こころの医療センター	3	中東遠	磐田市立総合病院	42
	西伊豆健育会病院	2		県立こども病院	10		中東遠総合医療センター	21
熱海 伊東	伊東市民病院	3		県立総合病院	35		市立御前崎総合病院	3
	国際医療福祉大学熱海病院	1		静岡市立静岡病院	39		菊川市立総合病院	9
駿東 田方	静岡医療センター	15		静岡市立清水病院	8		公立森町病院	5
	県立静岡がんセンター	11		静岡赤十字病院	25	公的医療機関等以外	4	
	沼津市立病院	16		静岡済生会総合病院	25	浜松労災病院	6	
	伊豆赤十字病院	1		JA静岡厚生連 静岡厚生病院	2	天竜病院	1	
	JA静岡厚生連ハビリテーション中伊豆温泉病院	1		清水駿府病院	1	浜松医療センター	36	
	三島総合病院	1		公的医療機関等以外	2	浜松市リハビリテーション病院	1	
	沼津中央病院	2	島田市立総合医療センター	14	国民健康保険佐久間病院	1		
	フジ虎ノ門整形外科病院	1	焼津市立総合病院	9	浜松赤十字病院	12		
	聖隷沼津病院	4	藤枝市立総合病院	30	JA静岡厚生連遠州病院	17		
	順天堂大学医学部附属静岡病院	8			聖隷浜松病院	39		
富士	公的医療機関等以外	2			聖隷三方原病院	31		
	富士宮市立病院	28			浜松医科大学医学部附属病院	119		
	共立蒲原総合病院	2			公的医療機関等以外	3		
	富士市立中央病院	16						
	鷹岡病院	2						
公的医療機関等以外	1							
東部計		118	中部計		203	西部計		350

※公的医療機関等以外は返還免除後の定着者等
※医師少数区域・医師少数スポット等は、今後変更になる可能性があります。

合計 671名

静岡県キャリア形成プログラムの概要

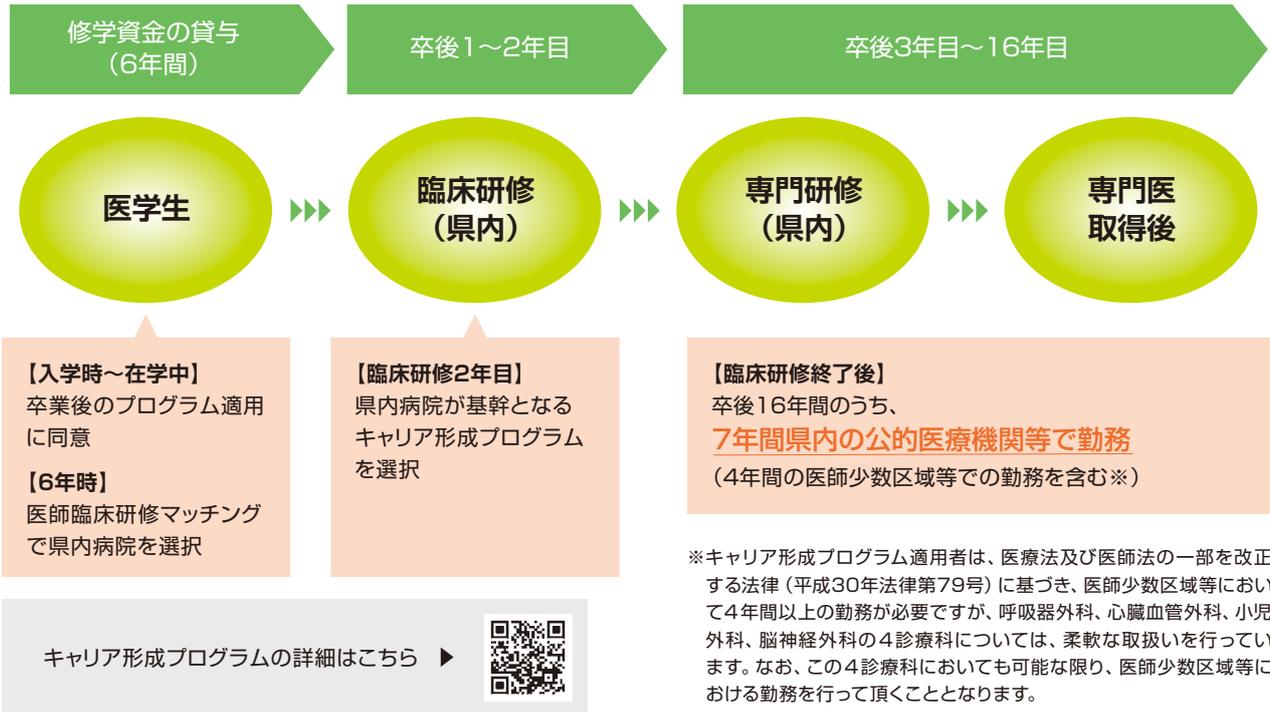
(1) 概要

医師としての能力開発の向上・地域医療への貢献を両立することができるプログラム

(2) 対象者

- ・ 令和2年度以降に貸与を開始した地域枠医師
(令和2年度及び3年度入学者は6年生進級時、令和4年度以降入学者は入学時に適用同意)
- ・ 一般枠、大学特別枠医師のうち希望する医師(6年生進級時に適用同意)
- ・ 令和元年度以前に貸与を開始した地域枠医師のうち希望する医師(6年生進級時に適用同意)

(3) プログラムイメージ



配置対象病院の医師不足状況 (令和5年10月現在)

各診療科の医師不足状況は以下のとおりです。

診療科	不足数	うち医師少数区域等
内科	234	73
皮膚科	18	9
小児科	25	8
精神科	26	10
外科	65	22
泌尿器科	26	13
脳神経外科	26	13
整形外科	43	24
形成外科	10	5
眼科	25	9
耳鼻いんこう科	21	8
産婦人科	35	12
リハビリ科	12	6
放射線科	38	10
麻酔科	55	13
病理診断科	17	5
臨床検査科	4	1
救急科	30	6
総合診療科	4	4
その他	25	3
計	739	254

令和元年度以前入学者の返還免除のための勤務シミュレーション

本人と協議し、その時点における医師の充足状況等を勘案し、医師不足の病院の中から以下の2つの病院を県が勤務先として決定する。

A病院: 本人が希望する2次医療圏域で県が指定する病院

B病院: A病院が属する地域とは異なる地域で県が指定する病院

※B病院については、原則、医師少数区域で勤務(状況により中位区域での勤務となる可能性がある。)

【6年間貸与を受けたケース】

年次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
勤務	臨床研修		専門医研修プログラム等				A病院		B病院:A病院が属する地域(西部)とは異なる地域の病院		—
勤務先	県内の臨床研修病院		—				西部		東部又は中部		—
算定	1年		4年				2年		2年		9年

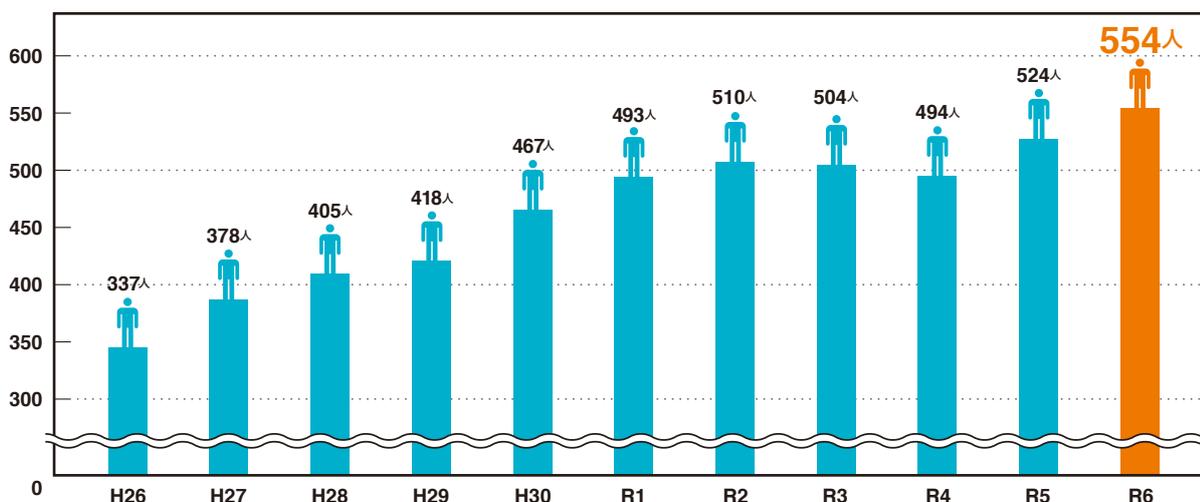
専門医資格取得後の残勤務期間の半分をA病院に勤務し、さらに残りの期間をB病院で勤務。

静岡県内 臨床研修病院の魅力

静岡県には、24の臨床研修病院があり、それぞれ特色ある臨床研修プログラムの提供しています。
臨床研修医は、この10年間で200名以上増加し、令和6年度に臨床研修を行う医師は550名を超える見込みです。
このように、静岡県で医師としてのキャリアをスタートする方が増えています。

本県の臨床研修医数の推移

本県では、医学修学研修資金の貸与、ふじのくにバーチャルメディカルカレッジでの取組、県内各病院との協力を通じて、臨床研修医数のさらなる増加に向けて取り組んでいます。



臨床研修 24病院の一覧

西部地域9病院

磐田市立総合病院
中東遠総合医療センター
浜松労災病院
浜松医科大学医学部附属病院
浜松医療センター
浜松赤十字病院
JA 静岡厚生連遠州病院
聖隷浜松病院
聖隷三方原病院

中部地域8病院

静岡県立総合病院
静岡市立静岡病院
静岡市立清水病院
静岡赤十字病院
静岡済生会総合病院
島田市立総合医療センター
焼津市立総合病院
藤枝市立総合病院

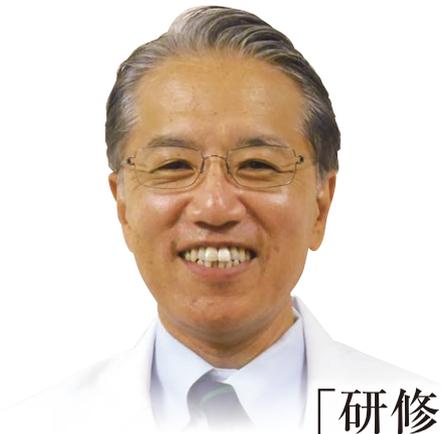
東部地域7病院

伊東市民病院
国際医療福祉大学熱海病院
静岡医療センター
沼津市立病院
順天堂大学医学部附属静岡病院
富士宮市立病院
富士市立中央病院

臨床研修病院の掲載ページ ▶▶▶



fujinokuni-doctor.jp/igakuse/kenshu/index.html



東部

CLOSE UP!

富士市立中央病院

人材育成センター長 / 診療参事

笠井 健司 先生

Dr. Kenji Kasai

「研修医とつくる初期臨床研修」

富士市の魅力

富士市立中央病院は人口24万人の静岡県東部地域で最も人口を有する富士市の中心部にあり、東海道新幹線の停車駅、東名・新東名高速道路のインターチェンジを間近に有する立地に恵まれた病院です。徒歩圏内にはカフェなどの飲食店やスーパーも多く、生活のしやすいエリアでもあります。当院は市内唯一の総合病院として医師会の先生方と協力し地域を挙げて市民の皆さんの健康を守っています。

充実した指導体制

当院は27診療科を有し、各診療科は部長、医長、医員、専攻医でバランスよく構成され、そのうち20人を超える若くて活発な専攻医が研修医の指導にもあたります。指導医同士の横のつながりもよく、どの診療科に進んでもスキルに応じた適切な指導を受けることができます。看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、…などコメディカルもみなたいへん親切です。患者さんが抱える問題を私たちと同じ視線で受けとめてくれるので予約外の検査もところよく引き受けてくれます。研修医にとって同じ

ころざしを持って勤務する医療者に囲まれて成長できる環境はかけがえないものです。

自由度の高いカリキュラム

現在、厚労省の指導に従って内科6か月、麻酔科を含む救急医療3か月、外科・小児科・産婦人科各1か月、地域医療・精神科は市の病院またはクリニック各1か月を必修とし、その他の期間を選択できるよう配慮しています。研修はローテーション先の診療を通して進めますが、初めの4か月ほどを内科中心に研修したあとは、比較的自由に自分でローテーションを組み立てることができます。そのほか、スキルアップ勉強会(月1回)、症例報告会(2か月に1回)、救急医学セミナー(2か月に1回)、JMECC(初期2年目以降の希望者)等を行っています。すべての診療科が全体で医学生の実習・見学の受け入れや研修医の育成に協力してくれます。

研修医室のオン・オフ

研修医は1学年6人、あわせて12人が同じ部屋で情報交換しながら和気あいあいと過ごしています。休みを取る者、勉強に励む者、カルテを入力する者、

それぞれ思い思いに時間を過ごしています。見学に来た学生もみな研修医室で過ごし、「何でも教えてくださいました」、「研修医同士も指導医とも仲が良いので驚きました」、「楽しかったです」ととても好評です。

初期臨床研修と人材育成センター

当院の医師の多くはいずれかの大学病院に所属し、ローテーションにより当院で勤務しています。特に若い世代の医師は1年から数年で交代してゆきますが、おかげで常に大学病院レベルの診療が維持されています。また、研修医の教育・育成・進路相談、医学生の実習・病院見学の手配やお世話には人材育成センターがあたります。人材育成センターは2023年に発足した組織で医師・看護師・事務職員が病院職員だけでなく、地域の中学生、高校生の病院見学にも関わる新しい組織です。ぜひ一度病院見学においでください。こんな研修病院があるのだと飲んでいただけるのではないかと思います。

皆さんのおいでをお待ちしています。

富士市立中央病院

所在地 : 静岡県富士市高島町50

TEL : 0545-52-1131 (内線2965)

E-MAIL : ch-jinzai@div.city.fuji.shizuoka.jp



院長 児島 章





CLOSE UP!

焼津市立総合病院

病院長 / 臨床研修プログラム責任者 / 腎臓内科

関 常司 先生

Dr. Joji Seki



経験と研鑽から成長へ

地域を支える病院として

当院は静岡中部に位置する焼津市の住民に対する地域医療中核病院(病床数423)であり、特に救急医療・周産期医療・難病医療・災害対策などに重点を置く、急性期充実体制加算が許認可された急性期病院です。当院の強みである周産期・小児医療や脳卒中などの分野については、市内に限らず志太榛原地域の中心的存在となっており、広域からの救急搬送を受け入れています。

当地区においては住民の80%以上が当院を中心とした地元医療機関で治療を受けています。

増加する救急患者、増え続ける社会的要求に応えながらも笑顔と挨拶をモットーに職員一丸となって地域の基幹病院としての役割を果たしています。第三者評価としては令和5年1月にNPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)、また2月には公益財団法人日本医療評価機構からの訪問評価を受審し、それぞれ2回目および5回目の認定を取得しました。こうした取り組みを通じて当院の卒後教育体制と医療の質をさらに向上させていく所存です。

基本的な診療能力を しっかり身につけるために

当院は、救急患者数が極めて多いことが特徴です。市内のみならず志太榛原医療圏をカバーする救急室では、内科系及び外科系ともバランスよく症例を経験でき、first touchを多く行うことで豊富な症例の中から重症例を選別できる能力を高めることができます。一次、二次はもとより、一部の三次救急に属するものまで対応しなくてはならないことから、common diseaseから稀少疾患に至るまで幅広く経験を積むことができます。

1年次研修医にとって、救急の現場では患者のトリアージができるようになることが最も大切な課題の一つです。面前の患者を、まずは自分の力量で診療するのか、すぐに上級医の診療を仰ぐのか、また、どの専門診療科に引き継ぐのかといった判断力を磨くことが研修の重点項目の一つです。

2年次研修医は、1年次を指導しつつ、自分に足りないところを補い、各自が志望する専門科への基礎固めをする期間に充てます。一方、将来の専門領域に依らず、医師として持つべき幅広い技能や基礎的知識を2年間かけて習得できるように、初期臨床研修プログラムをデザインしています。

そして、基本的な診療能力を身につけるために何よりも大切なのは、やはり「働きやすさ」です。当院では、ワークライフバランスの充実にかねてより取り組んでおり、研修の質を維持しながらも、休息もしっかりとることで、研修と生活の満足度を上げるようにしています。初期研修医については時間外労働時間を年960時間以内(A水準)としています。また、指導体制も充実しており、熱心な指導医だけでなく、優秀で教育的なコメディカルにも恵まれています。各診療科や部署間の垣根が低く、非常にコミュニケーションがとりやすい職場です。この働きやすさこそが、皆さんが積極的に仕事や勉強をやりやすい環境を作っています。

メッセージ

病院の一つ一つは地方都市にありふれた普通の市中病院かもしれませんが、臨床研修病院としてこれほど恵まれた病院はないと自負しています。皆さんの医療への熱意、自主性が加われば、有意義な研修生活は約束されたも同然です。

ぜひ当院に足を運んでいただき、実際の雰囲気を見ていただければ幸いです。なお当院ホームページに当院初期研修についての紹介動画も掲載していますので、こちらも併せて是非ご参照ください。

焼津市立総合病院

所在地 : 静岡県焼津市道原1000番地

TEL : 054-623-3111

E-MAIL : ikyoku@hospital.yaizu.shizuoka.jp



病院長(事業管理者) 関 常司



CLOSE UP!



西部

独立行政法人労働者健康安全機構
浜松労災病院

臨床研修プログラム責任者 / 脳神経外科部長

竹中 俊介 先生

Dr. Shunsuke Takenaka



有意義な研修医2年間を送れるようにサポートします。

浜松市東部の地域中核病院として

浜松労災病院は、浜松市中央区に位置する地域中核病院です。病床数は312床、21診療科を備えた中規模の総合病院で、急性期医療、2次救急医療を担っています。浜松市は、人口78万人の政令指定都市であり、夜間・休日の救急医療体制は、2次救急輪番制度が確立されています。当院も6日に1回のペースで浜松市の2次救急を担当しています。また、当院は、浜松市の東部に位置していることから、天竜川東部の磐田市民に対しても医療を提供する立場にあります。労災病院は、独立行政法人労働者健康安全機構の組織に属しているため、治療就労両立支援や、勤労者医療への取り組みも行われていますが、一般的な総合病院と考えていただいても結構です。

当院の研修プログラム

1年次は、内科系を6か月、外科1か月、麻酔科2か月、救急科として外科・脳神経外科を3か月まわってもらいます。2年次は、産婦人科・小児科・精神科は、浜松医科大学で各1か月、地域医療としては、浜松市内の連携クリニックで1か月

まわってもらい、残りの8か月は、希望に応じて自由に選択してもらいます。2年次には、進路によって選択する診療科が変わることもあるため、可能な限り自由に選択できるように努めています。

また、夜間の救急当直に関しては、当院では研修医だけで診療するような状況が無いように、必ず上級医と一緒に診療するようにしています。2年次からは、診療能力が上がってくるため、日中の救急症例のファーストタッチを指導医のバックアップ体制がある状況で行ってもらい、3年目以降の独り立ちに向け研修してもらいます。救急医療は、たくさんの症例を経験するチャンスですが、誤診や訴訟などの医療リスクもあり、そのような危険から研修医の先生達を守るように努めています。

当院の研修の特徴

当院の研修医枠は、1学年で4名と少ないことが特徴です。そのため、コメディカルも含めた多業種からのサポートも受けやすく、各研修医の性格や希望などを考慮に入れながらより良い研修が受けられるように努力しています。1年間を通して、各診療科からの勉強会だけでなく、中央検査部(生理検査・病理検査な

ど)・栄養管理部・中央リハビリテーション部・中央放射線部などからもテーマをあげ定期的な勉強会を行っています。また、月1回の救急外来症例からの放射線診断医による画像カンファランスも研修医を対象に行い、読影能力の向上に努めています。

当直に関しては、最低月3回のノルマはありますが、研修医同士で話し合って当直日を決めてもらい、通常の研修に支障が来さない程度であれば、やる気に応じて月6回程度まで頑張る研修医もいます。

働き方改革への対応

2024年4月から働き方改革が医療分野にも本格的に導入されますが、当院は労働者健康安全機構に属していることから研修医の労働健康安全には十分に配慮しています。当直明けは、翌日の午後からは帰れるような体制とし、当直に関しても先ほどやる気次第では6回程度まで行うことは可能と書きましたが、研修医のやる気と、健康安全を十分に考えて当直回数なども考えています。有給休暇や夏季休暇などもしっかりとるように指導しています。

独立行政法人労働者健康安全機構
浜松労災病院

所在地 : 静岡県浜松市中央区将監町25

TEL : 053-462-1211

E-MAIL : soumuka@hamamatsuh.johas.go.jp



院長 江川 裕人



臨床研修医向け研修会

静岡県では、卒後1・2年目の臨床研修医数が年々増加しており、令和5年度に県内で医師臨床研修を行う方は、500人以上となります。

増加する臨床研修医の指導と交流を目的に、静岡県が県医師会と協力し、講演会や実践形式での研修を通して臨床研修医ならびに若手医師のキャリアパス支援事業に取り組んでいます。

Welcome Seminar in Shizuoka

臨床研修医ならびに若手医師のキャリアパス支援事業の一環として、「医師臨床研修指導ガイドライン」に記載されている研修期間内に研修が必要とされる項目について、年3回に分けてセミナーを開催しています。

屋根瓦塾 in Shizuoka

臨床研修医の県内定着促進のため、「屋根瓦塾 in Shizuoka2023」を開催しました。臨床研修医が参加し、先輩医師が実演や講義を通して医療の知識・技術を伝達しました。



静岡県医師バンク

静岡県では、県内の医師確保や医師偏在解消を目的として、一般社団法人静岡県医師会と協力し、県内で働きたい医師への就業支援等を行う医師向け無料職業紹介サイト「静岡県医師バンク」を運営しています。

「静岡県医師バンク」では、県内医療機関の求人情報を掲載しているほか、最新の勤務医関連情報や、研修会情報、キャリア支援情報等、キャリアアップを希望される医師の皆様に役立つ様々な情報を発信しています。

医師の皆様には求職時に御相談いただくことで、医師のアドバイザーによる支援のもと、希望条件に沿った県内の求人医療機関を御紹介します。

求人医療機関・求職者の双方にとって納得のいくマッチングとなるよう、きめ細やかな相談対応を行っています。

静岡県医師バンク運営事務局

電話：054-246-6151（一般社団法人静岡県医師会内）

E-mail：dr-bank@jim.shizuoka.med.or.jp

静岡県医師バンク専用サイト

<https://www.shizuoka-doctorbank.jp>



医師のキャリア支援情報サイト

静岡県医師バンク

静岡県で唯一の医療関連情報サイトで「ふじのくに」とつながる

みんなの力を医療のちからに

メディメッセージ2023

静岡県では、県民の皆さんと医療現場で働く医療従事者とが交流するイベント「メディメッセージ」を開催しています。

メディメッセージ2023には、2日間で延べ4,500人が来場し、医師のトークライブや本物の医療技術に触れて学ぶ体験コーナー、医療チームによる最新技術の実演など、将来の地域医療を担う子供たちに、医療の魅力を伝えました。

静岡県は今後も県内の医療機関や関係団体と力を合わせて未来の担い手作りの支援を行います。



主催

メディメッセージ2023実行委員会（一般社団法人静岡県医師会、一般社団法人浜松市医師会、公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレーセンター、協和医科器械株式会社、株式会社アルパース、静岡県）

静岡県で働く女性医師のみなさんを応援します／ ふじのくに女性医師支援センター

静岡県では仕事と家庭の両立と自分のキャリアを積んでいきたい医師のお手伝いするために、「ふじのくに女性医師支援センター」を設置しています。センターでは浜松医大の医師である専任のコーディネーターを配置し、大学各診療科・県内医療機関と連携しながら医師としてキャリアを形成し、地域で活躍できるよう、復職に必要な子育て情報やキャリア形成についての相談・情報提供、県外から転居してくる医師も静岡県の医療機関で活躍できるようサポートを行っています。



ロールモデル講演会

仕事と家庭の両立で苦労したことや乗り越えるコツなど、それぞれの経験を基に講演いただきました。



キャリア支援シンポジウム

「未来をつなぐ指導医の育て方～静岡の魅力あるキャリア支援を考える～」をテーマに講演や座談会を通じて課題や今後の展望など意見交換を行いました。



お問い合わせ ふじのくに女性医師支援センター（浜松医科大学医学部附属病院 医師トータルサポートセンター内）

☎ **053-435-2380**

✉ dr-info@hama-med.ac.jp

ホームページは
こちらから→



SNSも毎週更新中!



Facebook



Instagram

寄附による医師確保支援

静岡県は株式会社ファミリーマート、松岡紙業株式会社（富士市）と医師確保支援に向けた協定を締結し、2019年から静岡県医学修学研修資金貸与事業への継続的な寄附を受けています。2023年3月に、第4回の寄附贈呈式が行われ、川勝知事から感謝状を贈呈いたしました。



ファミリーマート店舗に設置した古紙回収ボックスから回収された古紙の売却益等の一部が両社により静岡県に寄附され、医師確保に活用されます。

紙と医 **カミカラドクター**
FamilyMart 松岡紙業株式会社

静岡県ってどんなところ？

本県は、温暖な気候と豊かな自然や、多彩で高品質な農産物、歴史文化など、魅力あふれるものを数多く有しています。ぜひ、「ふじのくに」静岡県でその魅力に触れてください。

おすすめスポット！



【西部】浜松祭り



【中部】久能山東照宮



【東部】三島スカイウォーク



【伊豆】白浜海岸

“ふじのくに”の経済基盤



人口
(R4.10.1)

358万2千人

全国
10位



県内総生産
(R元年度)

17兆8,663億円

全国
10位



製造品出荷額等
(R3.6.1)

16兆4,513億円

全国
3位



1人当たりの県民所得
(R元年度)

340万円

全国
3位

産業



富士山麓先端健康産業集積(ファルマバレー)プロジェクトにより、関連産業の集積が進み、医療機器生産額は13年連続日本一です。

自然



登録から10周年を迎えた世界文化遺産の富士山や、「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟する駿河湾など、豊かな自然に囲まれています。

文化

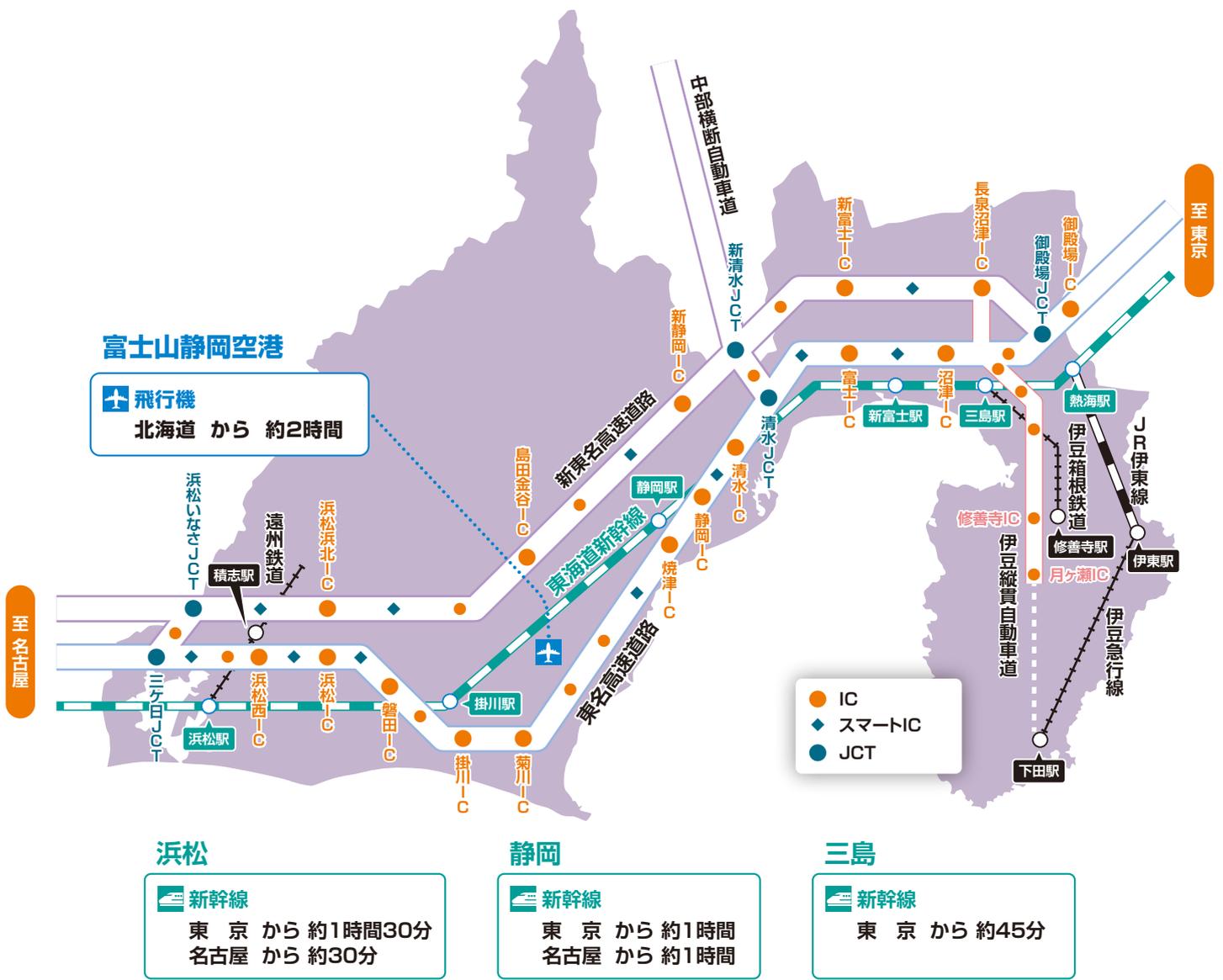


2023年に静岡県は、「東アジア文化都市」に選定され、日本の「文化の顔」、「文化首都」として1年にわたり日本文化の魅力を国内外に発信しました。

特産品



日本一の生産量を誇るお茶をはじめ、温暖な気候の下で数多くの特産品を生産しています。



ふじのくに地域医療支援センター

事務局

所在地：〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6
静岡県健康福祉部 地域医療課 内

TEL：054-221-2868

E-MAIL：chiikiiryouto@pref.shizuoka.lg.jp

医師就労等相談窓口

浜松医科大学

所在地：〒431-3192 浜松市中央区半田山1丁目20-1
浜松医科大学医学部附属病院 卒後教育センター内
TEL：053-435-2873
E-MAIL：tiikiiryouto@hama-med.ac.jp

静岡社会健康医学大学院大学

所在地：〒420-0881 静岡市葵区北安東4-27-2
静岡社会健康医学大学院大学 医師配置連携室内
TEL：054-295-5419
E-MAIL：vmcfujinokuni@s-sph.ac.jp

スマホからもチェック!

ふじのくに地域医療支援センター



イベント情報などを掲載しています!!

医学修学研修資金の募集情報、
医師のメッセージ、病院合同説明会、
バスツアー など

本冊子はインターネット
からご覧いただけます。

